明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 (日刊) 日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年九月廿一日 (火曜日) 第二百十九號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●宮內府管下の漁業權

從來宮內府の管理に屬せし各種漁基は昨年六月勅令第三十九號に依り國有に移屬せし結果農商工部に於ては一般人民に對し漁業法規に基き相當處分せらるべき筈なるも之が實查に時日を要すると漁期の切迫せるとにより其筋に於ては特に漁業者の便宜を計り是迄預貸を受けたる漁業者をして來年三月末日迄を期間として從前の例により漁業を營むことを認むる方針にて此際其次第を各當業者に通牒せられたりと云ふ尤も右は一時限りの處分にして來年四月以後は漁業法に依り正式に處分せらるゝ筈にて目下専ら其整理中なりと云ふ

●大同團結の大懇親會

一進會對大韓協會の大同團結は過般兩黨共評議員會に於て提携と決議し爾來懇親會開催の日取りに就き協議中なりしが一進會前顧問內田良平氏は十六東京發渡韓の途に就きたるを以て同氏着韓の上兩黨幹部連と談合の後之れを決定することゝなりたる由なるが多分來る二十五日頃なるべし

●慶北農産物の品評會

慶尙北道に於ては七月十日中央農會支會發會式を擧げたるは目下會員百八十名の多數に及びたる盛況にて來る十一月一日より十九日迄大邱尋常高等小學校に於て農産物品評會を開催する由なるが出品數は六十點經費豫算一千二百圓なりと斯の如きは産業發達上頗る有益なる事業と云ふべし

●免許漁業と認可期

韓國漁業法實施以來該規則に基き漁業區出願者は一昨十六日迄の統計によれば四千九百七十五件の多きに達したるが右は既報の如く實地調查しれる吏員の任命書に依り第一回に約千二百件は既に審査を了はり目下第二回の審査中なり然るに孰れも事件錯綜し區域亦廣汎に渉るを以て少くとも一箇月間の整理期間を要せざれば免許の指令を與ふるは來月中旬ならんと云ふ

●遊説團と遊説費運動

遊説團の高義駿、鄭慶周等四十餘名は十六日東大門外塔洞僧堂に會合して近々各道へ派遣すべき四十余名の遊説費に要する經費の支出方を現內閣に要求すべき件に就き凝議する處あり終つて懇親會を開き席上數番の演說ありたりと

●公州日本人會の紛擾

公州日本人會長岩田考慈氏は曩きに辭表を提出したるを以て今般農工銀行支店主任加賀美守氏を後任と定めたる處度支部及び本銀行より會長辭任の件を通知し來りたるに依り遂ひに辭任を申出でたるが目下適任者なきを以て加賀氏の就職を認められたる旨其筋へ交涉方を群山理事官へ請願することゝなりたり

●有病地部落交通遮斷

京仁間に於ける虎疫系統は當局者の極力計搜せるにも拘はらず未だ正確なる病源を發見するに至らず從ふて防疫に對する其筋の苦心經營は殆ど想像の他に出づるものあり殊に仁川地方は蔓延頗る旺盛を極め那時終熄すべしとも見へざる狀態にあるが當局に於ては深く慮る處あり同方面の病毒濃厚なる部落に限り部落遮斷(昨日より)斷行すべき筈にて就ては同輪廓內の住民に對しては相當救助の法を講ぜらるべしと

●禮山民會の內訌

忠淸南道禮山郡在留日本人は居留民集團に關する規則に從ひ從來の組織を變更して役員の改選をなしたる處元會長出口武利氏會長に池田源太郎氏會長代理に當撰したるも池田氏の辭任に就き出口氏の暴慢を惡むものありて目下民會組織の不必要を唱導するものありと

中山大納言

第五十六席　桃川燕玉演

高山彦九郎是を聽いて怒つたの怒らないの、ヅカ〳〵ッと其席に躍り込んで 彦「コレ誰だ、楠は輕卒だ、孔明の如く重々しくせぬければならぬ、孔明の方が貫目が重いと言つたは誰だッ」見ると滿面に朱を注いだよう、額の髯は逆に立つて喰ひ付きさうだから一噂の者驚いた ○「イヤ吾々が申した次第ではない、室先生の著した駿臺雜話と云ふ書物に論が出て居る、其話を吾々がしたのだ、吾々が兎角う申した次第ではない、尻を持つて行くならどうか鳩巣先生の方に尻を擔ぎ込んで下さるやう 彦「貴樣達は本を讀んで話をしただけだ、それなら今日は勘辨するが以來そんな馬鹿な事を言ふな、世の中には鳩巣のやうな腐儒者があるから、結局學者は世人に擯斥されて、どうも歎かはしい次第、唐土の玄德と云ふ人は何だ、元と中山靖王の末裔だなぞと云ふがそれも當にならない、蓆を織つて貧しい暮を致して居つた、それが一躍して蜀帝劉備玄德なんて大層な……此彦九郎の考では孔明が三度玄德に頼まれて盧を出たのは少しも重々しい所ではない、早過ぎる、玄德如き者の依頼を三度位で出る、それと我日本の楠と一所になるか、後醍醐天皇は萬世一系の天子に渡らせられ、其至尊の御身を以て正成を御召し遊ばす、故に正成が馳せ參じたと云ふのは甚だ遅い、何も天皇陛下の御招ぎを待つに及ばぬ、自分からさつさと出るが宜い、少しも早い所ぢやない、其處を熟く考へて口を利け、以來もある事だよく心得て置け、俺は承知をするが拳固が承知しない」と拳固を振り舞はすから一同の學生驚いた ○「險呑な人だ、下手な事をするとあの勢ではポカッさと喰ふよ、どうも高山は頑固だア ▲「イヤどうも頑固も頑固大頑固だ、大野豐、話にも何にもなりやアしない、併し高山先生の前で迂濶な事を言はん方が宜い、下手をすると何を言ひ出すか知れやしない ○「イヤ此間他で聞いて來たが、當時江戸の昌平黌に召されて大層有名な柴野彦輔、是は當時江戸で一二を爭ふ大學者だ、栗山先生と云ふ、あの頑固な高山先生と柴野栗山先生とは懇意なんだ ▲「へ——…… ○「所がかの先達何か書物を寄越した、其中に東都の仕人柴野彦輔と書いてあつた、東の都と…… ▲「成程…… ○「それを見て高山先生怒るまい事か、眞赤になつて飛んで行つて、何と心得て東都の仕人なんと云ふ、都と云ふのは一天萬乘の君の在する處を都と云ふ、江戸は何だ、德川將軍は天朝の家來、東の代官だ、其德川將軍が居る江戸を東の都などとは以ての外の事だ、全体貴樣等がさう云ふ考へ違ひをするから世間の人が皆心得違ひをしていかぬ、以來もある事だ、斯樣な文字を無暗に使つてはいかぬ、乾度氣を付けなさるが宜いと言つて、柴野栗山先生を頭から叱り飛ばしたといふ事だな ▲「フーム ○「其時にどうも柴野栗山先生、手の甲ツポを擦つて甚く弱つたと云ふ話だ ▲「さうだらう其位の事はやり兼ねない、餘程どうも頑固も頑固一通りの頑固ではない、色氣のない代物だな ○「それはどうも君はさう言ふが、高山だつて木の叉から落ちたんぢやなし、矢張り人間に變りはないから、色氣のないことはなからう ▲「イヤあの高山の樣子を見ろ、頑固野蠻極まつて居る、あれが誠に始末にいけない、手の付けやうがないどうも困り物だ ○「さうでない、人間としてまるで色氣も慾もない物はない、世の中は色慾の二つだ一つ高山を遊里へ引張り出して遊ばして見やうか △「けれども行くまい ○「なに行かない事はない、それは計らへば乾度行く ▲「餘り彦先生頑固な事を言つて始末にいかぬちと女郎買ひでもさして人間を圓くして、交際宜いやうにすることが出來れば結構だ △「イヤ大出來だ」デ二三人の學生が「エー高山先生 彦「何だ ○「どうです、室の津ですが 彦「ウム ○「彼處に一夜愉快に御出でになつては 彦「何だ、室の津へ何しに行くのだ ○「エー妓樓が大層ございまして先づ江戸の吉原大阪の新町、都の島原ですかナ、先づ中國では室の津の妓樓と來た日には大したもの、話の種だ、一つ先生御交際なさい、御案內致しませう 彦「何を言ふ穢らはしい、妓樓だなぞと怪しからぬ ○「それはどうも先生、あなたにも似合はない事、彼も人だあなたも人だ、何も婦人を近付けて何う斯うと云ふ次第ではない、是も交際だ、浩然の氣を養ふ婦人に酌をさせ一杯飲んで鬱を散らす、交際だから入らつしやい、何も婦人を近付けてどうかうと云ふそんな譯ではない、同じ酌ならまア女共が酌を致す方が酒も旨く上られませう、見晴らしの宜い所で一杯召上つて、宜いぢやアありませんか、總て世の中は交際と云ふことが肝腎、どうも已れ一人で押通さうと云ふのは宜しうございませぬ、どうです先生何も御交際だ入らつしやい……

京城新報

私賣國有地處分に就て

頃者報せらるゝ所に依れば度支部は國有地整理の爲め私賣國有地に就き既往に遡りて處分することに決し、統監府及法部の承認を得たりとの事也、果して之が事實なりとすれば在留邦人に取りては多大の關係あるべく、從て是を遂行するに就ては大に考慮を要することとなるべし、其處分の方針として傳ふる所に依れば、

一、現在の古有に於て國有地たる事を知りて買收したる者又は容易に之を知り得べきに拘らず重大なる過失により之を知らざりしもの假令賣買文記並に郡衙登記臺帳等に國有地たることの明示せらるゝか或は其買收價格が時價に比して不相當に低廉なるが如き等明白に惡意又は重過失を認定し得べき者は其賣買を無効とす

二、無効と認定したる時は其旨本人に通知し土地の引渡を求め尙且郡衙理事廳の證明又は査證を經たる者は其抹消を請求する事

三、平穩に土地の引渡をなすことを應諾せざる者有る時は當該官廳に訴訟を提起する事

四、第一項に該當せざる占有者權利の處分に就ては別に調査方法を定む

以上揭記の條項を以て眞に處分を實行するものとすれば隨分苛酷の處置と云はざる可らず、一項に示すが如く國有地たることを知りて之を買收したるものは之に依り處分せらるゝも自業自得と諦むべしと雖も、全く國有地とは知らず賣却者の所有地なりと思ひて買收し、當該官廳の證明を得或は帝國領事若しくは理事廳の證明を得たるものに對して迄も此方針を以て處分するに至りては余輩は決して其可なるを見ず、何となれば統府府設置以前に於ける韓國は生命財產の安固は無論、外人土地所有權の如きは頗る不確實にして決して意を安じて放資する能はず、韓人にして土地の買收を依賴し來るもの頗々あるも、危險を感じて之に資を投ずるものは稀なりき、此際に於て放膽なるものは其價格の特に廉なるものを買收せり、斯る冒險家ありてこそ在留邦人の地方經營は今日の如く進步せる也、惟ふに此等の買收土地には或は國有地なるものなきに非ざるべし、此等は全く國有土地と知らずして買收せるものにして假令價格は時價に比して頗る廉なりとも、今に至りて其賣買を無効とするが如きは甚だ苛酷の處置と云はざる可らず、殊に當該官廳が明に其賣買を證明するに於てをや、若し夫れ報せらるゝ如き度支部の方針を以て處分するとせば、其迷惑を蒙るもの獨り在留邦人のみならず、其他の外國人の占有地にも總多此例に依るものあるべしと思ふ、當局者が之を實行するに就ては先以て愼重に考慮する所なかるべからず、余輩も亦更に考慮して之に對する意見を發表する所あらんも、先以て如上の點に就きて警告し置かむ。

●熊谷民長主催の宴會 去る十八日夜巴城館に開催せられたる熊谷 で中村會頭の挨拶續で大內代議士の廿五議會に於ける報告演說あり就中民長官要問題

東京電報

▲殖民の統一亂脉 北海道樺太臺灣滿韓の各殖民地が思ひ〳〵の方針を取り政府の監督統一上亂脉を極め居るを遺憾とし近來法制局內に拓殖務省再興の議あり賛成者頗る多き模樣なれば或は事實として現はれ出でん(二十日)

▲又日清の意見衝突 安奉線陳相屯以西の線路査定に就き日清兩國の意見相違し今に解決せず(同上)

▲清國の誠意疑はし 東三省總督錫良は清商等のボイコットに對し斷然たる處置を採用する能はず却つて暴民に同情するの形跡あり是に對し我が奉天總領事は嚴乎なる警告を與へたり(同上)

▲韓鐵布設費計上 大藏省は來年度豫算中に韓國鐵道補助費として三百五十萬圓を計上したり(廿日發)

▲遣米軍艦の出帆 桑港祝祭參列の爲め派遣さるゝ軍艦出雲は本日橫濱を拔錨したり(同上)

▲國債償還額 明四十三年度國債償還額は六千八百萬圓に確定せり(同上)

▲濱の家密議 杉山茂丸氏は昨十九日夜寺島濱の家に伊藤公伊東子後藤男、近藤廉平、加藤正義を招待し同氏主人となり諸星を會見せしめ韓國問題に關する密議を凝らして深更に及べり(同上)

▲米作增收壹億圓 本年度米作は第一回豫想五千四百餘万石を下らず本年作に比し一億圓の增狀にて未曾有の豐作なるが農商務當局が六千万石に達すべしと語りたりとの報導は事實無根なり(同上)

▲細目協定の其後 日清協約に依る撫順煙臺兩炭鑛に關する細目の協定は其後正式の交涉なく小池奉天總領事と錫東三省總督との間に唯だ意見交換中なり(同上)

▲趙爾巽の榮轉說 四川總督趙爾巽は中央政府の要職に任せられ其後任は錫良ならんと(同上)

▲韓國學生の優遇 中央幼年學校にては今回入學せる韓國委托學生の規程を設け別に教育班を置きて本邦生と特分し武器器具其他一切の豫備品を貸與する事となれり(同上)

▲瀆職議員勳記剝奪 瀆職議員橫井時雄森本駿外六名の既決囚は昨十八日付を以て勳記剝奪せられたり(同上)

▲高木男甥自殺 男爵高木兼寬氏の甥にして醫學士豐任委入(三四)氏は留學滿期去る十五日獨逸より歸朝したるが昨十九日夜品川にて鐵道轢死を遂げたり同氏は非常なる秀才にて福岡大學教授候補者に擬せられ前途有望なる學者なりしに惜むべし

▲連絡券の發賣 鐵道院は滿韓巡遊券及渡遊連絡乘車券を來る二十五日より發賣する旨告示せり(同上)

▲石塚長官推薦 東洋協會は會長桂侯より韓國支部長を石塚英藏氏に囑托したり(同上)

▲駐劄軍の歸還延期 韓國派遣隊の四十年徵集現役步兵及び上等看護卒は四十三年四月內地歸還後除隊の日まで存營期間を延期せり(同上)

紐育電報

▲北極探險家の躍起 北極探險家ベアリー氏はクック氏の北極探險の名譽を先んせられたるに躍起となりクック氏の北極探險を遂行せざるを攻擊し其證據を指摘して此際敵團体に提供せんと敎圍き既に其準備ありと明言し居れり(九月十九日午前十時發)

倫敦電報

▲英國元帥新任 前印度大守キッチナ將軍は今回元帥の稱號を賜はりたり(廿日午後一時)

巴里電報

▲借王銃殺せらる モロッコ王は皇宮の面前にて潛王を銃殺したり

雜報

●聯合會可決議案 第八次商業會議所聯合會は十五日より開會十九日に至る五日間每日午前九時より午後五時まで議案を審議し之に對し當局の次官局長等の出張を乞ひ一々意見を聞き質問研究をなし昨十九日全く終了せり而して可決したる事項は左の如し

第一號案 條約改正に付日韓關稅に關し意見開申(京城提出)
第二號案 本邦穀物輸入稅引下に關し意見開申(鎭南浦、京城、仁川、馬山、釜山、群山提出)
第三號案 韓京土地整理に關し意見開申(京城提出)
第四號案 輸出穀物の檢查令發布を其筋へ建議の件(鎭南浦提出宿題)
第五號案 韓國沿岸直通航路開始に付意見開申(群山提出)
第六號案 韓國銀行に對する希望(仁川提出)
第七號案 拓殖會社に金融部の擴張を促す件(委員會提出)
第八號案 在韓日本人商業會議所資格確認に關する建議の件

外に韓國聯合會にて決議し其筋へ提出したる事項の實行を促すの件を協議せり
韓國農事改良に關する建議の件
韓國輸出稅全廢の請願の件
各港に於ける稅關鑑定價額の均衡を保たしむるに付建議の件
鐵道荷客短距離賃率低減を其の筋へ建議の件
產業組合及同業組合に關する法規發布を其筋へ請願の件

終て散會したるは午後九時過ぎなりき

●朝鮮古書刊行會近況

●間島鑛物は將來有望 從來間島鑛物の採掘に着手したる者は交通不便なる爲め常に失敗に終りたるも東間島にては金鑛、銀鑛銅鑛、鐵鑛、石炭、石灰、陶土及粘土、石材等の有用鑛物を產するを以て將來道路鐵道等完備するに至らば必らず有望なるものあらんと最近同地を調査せし某技師は語れり

●警察部長會議の經過 廿六日は內部大臣次官及び局長の訓示あり廿七日は國分檢事總長の訓示あり司法事務に關する警察官の有力なる功績を擧げ其より世古檢事長が新司法事務開始の場合に於て法律干係の疑問數点に就き豫め注意する所あり倘法部安住書記官より警察官が執達吏事務を執行して以來其結果非常に良好なりしことを述べたり同日午後は俵次官の地方學校發展及取締の演說あり各部長は各道の狀況を陳述せり十八日は兼て宿題として發したる諸問中韓國事情に關する事項は各部長の意見を吐露せしめ其に加へ內部書記官趙羲九氏の意見を述べしめ最後に松井局長は各意見に對する評論を爲したる上一場の訓示を與へたり二十日は引續き諸問事項に付意見を述べしめ同じく局長の評論訓示あり此日は三浦理事官も列席し宣敎師問題に付一場の談話を爲し岡次官若林警視監も列席聽取する處ありたり

●農商工部の警察會議 農商工部にては來る二十五日午前警察部長を召集して會議を開く由其諮問事項及注意事項は目下取纏め中なり

●地方區域廢合の方針 地方區域廢合に關する當局の方針は道府郡にありては曩きに發布されたる法律に基き勅令に依ることゝし郡以下面にありては觀察使の具申に依り內部令を以て之れを定め洞以下は觀察使に於て定めたる上內部に報告せしむる由にて是れを以て將來地方區域廢合の整理を行ふ筈なりと

●關野博士の調查事項 今般度支部の囑託に依り韓國に於ける古建築物調查の爲め渡韓せる東京帝國大學敎授工學博士關野貞氏は東洋古代の建築史學に最も造詣深く現に內務技師を兼ね專ら古社寺保存及美術歷史に關する方面の調查に盡瘁せられつゝあるが今回の渡韓は韓國に於ける同方面の調查不完全なるを以て主として古代建造物の調查に從ふ傍ら古美術又は寶物等に就ても精細なる調查を試みらるゝ筈なりと其補助員としては史學科出身の文學士谷井濟一氏、工學士栗山俊一氏隨行せり該一行は目下舊永濱關稅總長の官舍に滯在中なるも不遠調查準備整頓の上は各地方巡回視察の途に上らるゝ筈

●鎭海灣附近昨今漁況 此二三ヶ月の間は漁業頗る不況にして寂寞なるものなりしも昨今漸く秋漁期の初めとなりて鎭海灣以西固城半島沿岸には百四五十統の漁網克く應分の漁利をなし中には一統八千圓余の水揚をなしたるものありグチ網及び鱸網は「スズキ」を捕獲して馬山並に釜山に輸送しつゝあり尙八月下旬よりは大刀魚漸く秋季漁業となりて漁利なれば韓人漁夫は何れも喜び居れり

込みあり既に豫定數の三分の二以上に達したるを以て京城日報社の印刷部と特約して

●統監府出務時間改定 明二十一日より統監府は執務時間を改正し午前九時出勤午后五時退廳に改めたるが當分の內は從來の通りなる由

●龍山時報と議員紛議 此頃の龍山時報は兼古、三木、木村の三議員が學校建築に關し民團より不當の報酬を收得したり云々の記事を揭げたるより三議員は同社に抗議を申込み次で事實調查となりしが民長は其事實を非認したるを以て遂に表沙汰となり議員等は誹毀の告訴を提起したりと云ふ(日韓通信)

●龍山水道と地主會合 龍山水道に就きては民團と會社の間に數回の交涉を重ねたるが本日は民團にて水管埋設地域に關係ある各地主を會し埋設諾否他附帶の件に就き相談の筈なり

●屠牛稅賦課額の決定 屠牛稅は屠場規則により之を認可したるを以て觀察使は徵收方を財務署に命じ財務署は一圓五十錢より一圓以下豚等は二十錢位賦課することゝなるべし

●木內次官と水產局員 農商工部水產局近來其事務の繁劇と共に局員著しく增加せるも木內次官は未だ新任者の誰たるを知らず斯くては執務上不便なるを以て一昨十九日一同を次官室に召集して引見し同時に漁政の方針及び執務心得を訓示したる由

●東拓金融部の現狀(某社員の嘆息談) 我が政府が東洋拓殖條例を定め韓國經營の一部に委托したるは其目的那邊に在りやは今茲に喋々を要する迄もなし然れども處する其人を得ざれば折角の制度も百害あつて一益なきに到る可し現に吾が東拓の現狀も予は遺憾ながら此類たるを明言するに憚らざるなり世人は漫然東拓の無能を叫び施設の緩慢を責むると雖も焉んぞ知らん東拓會社は普通一般の營利會社にあらざるなり此點に就ては總裁重役が屢々辨明する如く農耕事業は他の工業の如く事功を急ぐ能はざる所以を是認すべしと雖も予を以て是を見れば如上世人の批難も亦總裁の辨明も共に井蛙天を評するの誹りを免れざるべし則ち吾が東拓會社は韓國經營上の一機關として存在し其任務は每に指導模範の位置に立つものにして彼の內農耕の經營を爲し外資金の融通を爲さしむる所以のものは唯だ此任務遂行の手段たるに過ぎざるなり然るに現重役等の施設する處を見るに孰れも此主要任務を忘棄して營利一片の奴隸となり恰かも餓虎の夫れの如く他を顧みるの遑まなきが如き實に慨嘆に餘りあり一例を擧ぐれば金融部の如きは其弊害最も甚しく現に過日も某が若干の金融を乞はんと欲し群山地方の所有地を提供して是を申込みたるに數回應答の後漸く貸地調査の爲め社員を現場に派遣せしめたり其結果貸付規則により旅費として四百圓餘の巨額を某より貪りながら遂に破談とせるが如き其殘忍酷薄なる彼の高利貸も尙ほ爲すを憚るの暴を極めたり且つ東拓の貸付金は万以下の額は是に應せず然かも其標準利子は一割二步と標榜し農工銀行以上の暴利を貪りつゝあり是を聞く農工銀行は一二千は一割二步一万以上は一割十萬以上は八九步を以て是に應ずる由然るに東拓は此巨利を以て興業資金に供給し韓國拓殖の任務を盡さんと欲す恰かも平招專賣をして此主要特權を獲得せしむると何等擇ぶなき次第なり其他事業部の如きも比較的曠漠なる土地を占有し利益の條件を得て是を經營す則ち如斯なれば彼等は宛然大地主の如く自任し袖手小作料を算定して毫も指導模範的の施設を爲さざるは寧ろ怪むに足らざるなり則ち東拓重役の心事を付度するに彼等は活動して經費を消失せんよりは無爲無能を以て政府補給金を貪り小作人を苛責するを萬全の妙訣の如く心得居るものなりとて一社員は憤慨して記者に語れり(電通所報)

●愛媛觀光團の動靜 一昨十八日夜入京したる愛媛觀光團は翌十九日午前九時より農商工部商品陳列所を始としパゴタ公園及び昌德宮の秘園を拜觀して慶福宮に到り漢城府民會及び韓國側商業會議所の主催に依る歡迎會に參列し同所を去り夫より京城民團役所及び日本人商業會議所の歡迎會に臨みて熊谷民長及び山口書記長代理の有益なる講話を聽き終つて倭城臺に上り一同紀念の撮影を爲し夕景よりは同縣人の歡迎會に臨席したりと

●定例閣議 昨二十日各相登閣虎疫豫防に關する件其他に就き閣議を開くべしと

●廿三日の謁見 來る廿三日獨逸東洋艦隊司令官、石井統監府武官、榊原憲兵隊長大村經理部長等は石塚總務長官の帶同にて昌德宮に參內韓皇陛下に謁見敬意を表すと

●兩宮大消毒 宮中防疫委員は昨日曜日を以て德壽、昌德兩宮の大淸潔法を勵行し尙官吏及昌德宮女官々舍に於ける百餘名の女官の健康診斷を行へり

●若林總監招宴 若林警視總監は滯京中の各道警察部長を今二十一日午後六時より京城ホテルに招待し晩餐會を催ふす由

●親衞府宴會 親衞府武官等三十五六名は本日午後六時より京城ホテルにて晩餐會を催ふす由

●大內代議士北行 代議士大內暢三氏は本日平壤へ向つて出發したり滯在は一二日位の豫定なりと

本願寺にては左の通り說敎あり倘說敎は永代經讀經ありと云ふ 午後二時 午後七時半

●法權實施經費支出法 韓國司法權實施に要する歲出臨時費は三百

●中村長官の訪府 製鐵所長中村中將は今朝統監及び石塚長官を訪問せり

●津輕書記官歸京 曩に歸東中なりし津輕宮內府書記官は夫人同伴十八日夜歸任す

●製鐵所長官入城 枝光製鐵所長官陸軍中將中村雄次郎氏は既報の如く昨夜南大門驛着入京天眞樓に投宿せり用向は曾禰統監より來韓を促がされたるものにして韓國鐵鑛に關する件なる由

●內田良平氏着京 一進會元顧問內田良平氏は十八日夜來京したり

公人私人

▲森肇(代議士) 十九日入京三日月投
▲森元俊之助(水原林業所長) 佐藤旅館投
▲田島正平(釜山民會議員) 十九日歸釜
▲室賀千郎(江陵判事) 赴任
▲武森庄兵衛(鐵山業) 宣川へ

近事片々

▲帝室 費增加の議天聽に達し 聖上陛下尙早を宣はせらる大御心臣民感泣の外なし
▲我 主上陛下の御仁德臣民擧て業務に奮勵し以て大御心を安んじ奉らざる可らず
▲產業 に金で保護せず事業其者を保護するにありとの統監の產業論甚だ可實行專一
▲事業 其者を保護するにも依估ありては不可總てに於て斷じて公平なれ至囑々々
▲石油 發動機の巡邏船五隻は曩々遠着し去る十四日大阪出帆不日到着すべしと云ふ
▲此巡 邏船韓海に浮べば漁業の發展に効あらん島嶼出沒の草賊共も遁逃し去るべし
▲輓近 祖國の觀光團續々來るは喜ぶべき事百聞は眞に一見に若かず片々は大に歡迎
▲今日 の視察は驟て經營の緒となる觀光團によりて祖國の滿韓經營熱は起り來らむ
▲吉會 線布設に對する露國の[illegible]は或は事實ならむと然り交通機關の增加可警
▲桂侯 近來不言實行を廣して能言の人となる以是內閣の運命長からずと評する者有
▲太郎 宰相の政略は追々杜陽主義となる其意乃ち聲はすれども姿が見へぬとの事也
▲文章 日に華靡に流れ意味不判明計數館力も下降ふビロン末路の轍と東京每日云ふ
▲悲觀 すれば何でも悲觀せらると見ゆ新進日出國を巴比倫呼はりは聊か狂氣の沙汰
▲北極 探險家ペアリー大佐は更に南極探險に出掛ると北極の成功に勇氣百倍せるか
▲南北 兩極共に米人に依て探險さるゝか遮莫南端極の發見は今世紀の大事蹟ならむ
▲日清 問に又々爭論起る而も淸國の誠意疑はしとの報來る宜加減に同族爭いは可止
▲攝政 王の賢明なる能く東洋全局の利害を顧て日淸親善して平和を確保するが肝要
▲老功 の張之洞病愈々篤しと此人淸國の柱石多事多事の際速に回復せん事を希望す
▲尾崎 學堂政友會復歸は河野小川花井田川等の反對に依りて頓挫すと却て是れ可也
▲學者 として尊重すべき戶水博士政友會に入ては殆ど猶兒の如し人物の下る事數等

●法官養成所の移轉 委任司法權の實施は來る十一月を以て決行

京城の虎疫彙報

▲散發區域益々擴大
▲新患者續々發生す

▲十八日京城龍洞八十九統二戶金景式方滯在山形縣平民味噌商志田安吉(四八)は眞正虎列拉病に罹り南部署兒玉巡査護送して齊坡病院に收容す▲南山町三丁目六十一番戶大熊幸次郎は十八日赤痢病に罹りたる旨屆出に依り南部署田中部長村岡巡査附近一帶の消毒を嚴重にし患者は大韓醫院に送る▲十八日本町三丁目十九番戶町田文次郎方雇人なる蓬來町二丁目十番戶畑山平吉方止宿藤田しめ(四三)は疑似コレラに罹りたる旨戶田醫師の屆出に接し南部署下村警部野口部長は民團役所吏員と協力して附近一帶の消毒を勵行し患者は本町派出所にて監視中▲十九日午前八時明治町二丁目通り路上に行倒れたる乞食金岩伊五郎を神吉警察醫南署中村車西部長立會の上診檢せしに疑似虎列拉と確定し朴錫圭巡査をして患者を光熙門外傳染病院に送致す▲十九日櫻井町三十六番地渡邊磯吉妻某コレラに罹りたるに依り直ちに齊坡病院に收容す宇都兒玉の兩巡査は同番地岩永みつ方附近の交通遮斷をなす▲十九日竹洞八十二統一戶朴健培妻沈姓女(四〇)はコレラに罹り死亡したるに付き南部署中村車兩部長は附近の消毒をなし李長鎔巡査は光熙門外傳染病墓地へ埋葬す▲冷井洞七統七戶林伊鐵妻幹姓女(四三)は十九日眞正コレラに罹り南署村岡李の兩巡査は消毒に從事し患者は光熙門外傳染病院に護送す▲十八日午前一時より仁達坊內需司洞直旁三十三號禹純鼎の長女点順(六つ)は病氣にて自宅加療中の處西署山本醫師の檢診に依り眞正コレラと確定す▲仁達坊鷹珠峴昌樂洞警第五號李基範方同居金奎植長男壽得(五つ)は十八日虎疫にて死亡す▲十八日午後六時南大門派出所受持管內の檢病的戶口調査を執行せる際南大門外小渓門警第百二十七號昌九方方北宿京畿道上北面陽質里居尹姓女(七十)は虎列拉病と確定し宇都橋浦の兩巡査出張消毒中患者は死亡せしに依り光熙門外傳染病院墓地に埋葬せり▲原籍大阪府南區當時北部水門洞統戶不詳居住福山米次郎及原籍京都府當時古市町十二番戶阪田穗松方雇人佐々木才一郎は十九日コレラ病に罹り隔離中なりと

虎疫系統の發見

▲支那ジャンクにて輸入

苦心に苦心を累ねたりし虎病系統も昨來漸やく其の正確を認め來り病毒輸入地を仁川永宗島と認め同島には嚴重に行通遮斷を勵行せり因に云ふ同島は芝罘方面より集中する支那ジャンクの輻湊地なるが淸人の無頓着なる病死屍体は其まゝ海中に投棄すとの となり

日本人暴徒に殺害さる

▲全身の創傷、無殘の横死

近時暴徒のため邦人の被害頻々なるが茲に又々芝知浦に邦人の慘殺されたる一慘事あり其概を記さんに

▲被害者の素性 は原籍北海道石狩國石狩郡花畔村九番當地時群山榮町在留薪炭商前田熊吉(三八)にして熊吉は薪炭買收のため前記扶安郡芝知浦韓人南書房宅に滯在中去る十六日午後十一時早や寢につきて四顧漸やく寂然となりし頃俄然暴徒四十有五名來襲理不盡に溫突に闖入して夢酣の熊吉が左頭部に斬り附けたるを以てガバとばかり蹴起したる熊吉は迸ばしる鮮血に染みながら大和男の子の意氣は斯くぞと獲物も取らず空拳にて暫しが間は挑み合ひたるも既に數ヶ所の手創を負ねる身はさらぬだに衆寡適せずやうやく

▲一方の血路 を切り開いて逃れ出でたるに恰も芝知浦に繫船し居たる二條通りの大竹與吉といふがあり先程よりの銃聲に熊吉の身の上心元なく忍び足に來かゝりたる折柄とて直ちに熊吉を扶けて自分の船に誘ひ行き帆を張つて歸群の途につきたるも既に人事不省となりたる熊吉は十七日午後五時頃群山より三里の沖合にて敢へなく絶命したれば大竹は昨朝群山へ歸着するや否や直ちに右の旨群山署に屆出でたるを以て負原森兩巡査中山警察醫を伴ひ現場に出張して

▲死体を檢診 したるに熊吉は長さ約三寸巾不明深さ骨膜に達する切傷及び長さ四寸巾一分深さ骨膜に達する致命傷其他十九ヶ所の深傷淺傷に全身朱に染み棍棒樣のものにて亂打されたるものと見ゆて全身悉く槳線を引き見るも酸鼻の極み也しと檢診濟了後死体は妻にしのに引渡されたるが右の暴徒は兇行後屯呂浦方面に逃走したるものゝ如き由なり

學問したさに娘の家出

▲ハイカラ病の大流行

去る十八日夜來西部署に保護を加へつゝある中部農圃洞八十六統五戶李觀夏娘李姓女(二三)は十九日午後十時頃母親鄭姓女が同人引取の爲め本署に出頭したるに付き取調べたるに同人が家出の原因とも云ふべきは兩親が今回都會生活困難に依り不日田舍に轉住せんとするを聞き娘は京城の土地を去るを好まず且つ自分の朋輩の多くが何れも相當の學校に就學して新敎育を受けつゝあるを羨望に堪ねず自分も何とかして勉學の途に就きたく斯くは家出したる次第にして決して痴情等の關係あらざる旨陳述せしかば懇々其不心得を諭して母に引渡したり

醉漢の撲り合ひ

十八日午後十一時三十分頃南大門巡査派出所に韓人李韓周なる者二名の韓人を同行せしに依り詰合巡査は取調べたるに養生坊倉洞三十統九戶殷學鎭方に於て黃海道鳳山郡瑞湖面李泰植(三六)南大門通り一丁目紀の國屋方雇人朴致集(三三)の兩人が酩酊の結果爭論をれつ初め果ては喧嘩にもならんず勢なるに說諭方願出でたるも別に双方とも微傷だになく全く酩酊の結果に出でたるものと知れ醉醒めの上双方共厚く將來を戒めて放還せり

只飲んで亂棒す

南門洞五十二統十一戶酒商崔聖根方に十九日盤松坊幹林洞十七統一戶豆腐商朱道鎭(三十)は饕腹煽り泥醉し剩へ口論をなし酒代を支拂はざるに依り訴へに接し西部署巡査鄭商軾が取押へ說諭を加へしに反つて警官に暴言を吐きたる廉により檢束處分にす

食ひ醉て亂暴す

北部社洞統戶不詳金衛鎭(二五)は十九日夜珠峴居住酒商金景玉方にて飲食して亂暴を働き始末に了ねざるより訴により西部署に引致せらる

◎判・任・
判任で一人前の金子を溜め　豚酒舍

◎商・人・
脫稅はしても增稅にや反對し　同

◎才・子・
廢物の姬拜りようで立身し　同

◎宗・敎・家・
御自分は拜金宗の信者なり　同

◎僕・
華嚴へも行く氣になれぬ厭世家　同

◎豚・の・家・
行く旅費があれば悲觀はせぬのなり　ひら

錢遣いの細い男

養生坊館井洞統戶不詳金學潤(三三)は京畿道始興郡番岱居住林五奉なるものを一日間使勞して其の賃金を拂はざりしが一昨日午後七時頃林は所用ありて夜珠峴通りを通行の際突然金に邂逅したるより金に向つて最後の談判を開始せしも尙金の應せざるを大に怒り金を大道に組敷きて爭鬪眞最中西部署の金巡査が巡邏し來り双方を本署に引致し取調べし處前述の次第が知れ金に相當使役料を出金せしめて和解せしめたりとは人使ひの荒い奴なり

外國人の搜索願

京城鐵路外國人コールブラン方滯在米國人ダビッソン、モーリスの二名は一昨日曜日午後二時龍山より石油發動船に乘り下流に向つて船遊に出掛けたるまゝ歸り來らず或は機關部に故障を生じ困難に陷り居るやも知れずとて兩人の家族より高橋副理事官宛昨日搜索方申出でたるに依り其筋にては目下手配中なりと

法庭だより

明廿二日午前九時法務院に於て左記事件に就き公判ある筈

▲民事 土地所有權確認及秋收稻返還請求 上訴人堀力太郎被上訴人申泰翊 土地所有權確認及秋收取戾請求 上訴人孫之銘被上訴人湯淺凡平

▲刑事 殺人被告人近藤醜太郎

二百圓の福の神

トルコ煙草商會にては豫定の如く賣出景品の抽籤を昨二十日本町辻屋本店にて擧行したるが一等二百圓の當籤番號は一〇六三にして以下詳しくは廣告欄にあり

蝶々の移轉披露

本町の大火に類燒後永樂町二丁目に於て營業し居たる蝶々は旭町二丁目(理事廳横)みやこ亭跡に移轉したるが一昨夜六時より新聞記者其の他を招待し其披露宴を張りたり

吉凶鏡

本町五丁目 三二館判斷

九月廿一日舊八月七日四綠友引甲申どつひがん△一白 活潑潑地の行動を要す神經の痴鈍を禁ず△二黑 他人の事に助言干涉し却て怨恨を買ふあり共同組合其他密邇關係に破綻起り易し△三碧 總じて靜穩なり交際上及火の元に懸念すべし△四綠 讒誣誹謗防ぐべし旅行轉住凶脚より下の病傷畏るべし△五黃 盜難遺失家族從者より痛心損害を受くるあり△六白 猶疑して未だ斷せざる事單刀直入的の處斷を要す眼前の少利により將來の利得を失ふなかれ△七赤 爭端覺端起らん壯者は情交の事戒飭すべし△八白 農林業には吉其他總じて不愉快の日とす△九紫 談論中良き敎訓を聽聞することあり友人のため世話事あり

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

平民文庫

▲明治町の松善が曙町大韓日報社の跡へ移轉した廣告を貴紙で拜讀仕り早速同業者二十名で參り候處成る程料理も以前に勝り大勉强は感心致し候是ならば商賣繁昌は大受合併し電話無きが一つの手落ち我々遠方の者は一寸注文するにも大不便成る事なれば早く電話を架設して下さい(床屋の一人)▲製鐵所長官中村中將は別項の如く昨夜入京したが渡韓の用件は會禰統監から促がされたといふのに統監府は誰れ一人出迎を爲すものが無かつた聞けば同府の吏員等は日曜の太平酒に醉ひ潰ぶれて中將の入京を忘れて仕舞つたのだと云ふ事だ▲然るに將軍は何等不審の顏もせず永登浦迄出迎へた某氏と手を携へて降車し然かも一人の從者も伴はず洒然として停車場に現はれ辻待車に飛び乘つて天眞樓へ入つた▲一寸出張するのにも屬官を伴ひ官威を振り翳ざし步行く役人根性を脫却せる處流石は武邊出身の珍である▲此將軍の鼻糞でも丸めて華奢に沈溺せる今の役人共に飲ませたら幾干か利目があるかも知れまい(消息通)▲あるかも知れないあるかも知れない、併し病氣も重くなりますと鼻糞丸藥は利き目はないよ鼻糞丸藥が利かないのぢやない病氣が重いからだよ(小僧)▲龍山軍司令部の石森と云ふ計○は隨分非道な奴ちや外の役人は毎日二十五日には必ず支拂ふて下さるに彼れは必ず一ヶ月宛延ばし馬鹿に威張りて其れに二月以上引付けて支拂はぬ今度行つて見たら最早他に轉任して居ない爲めに私は主人に大變叱られ自分が辨償した敢て經理部長閣下に御報告致します(官舍回り)▲本町八丁目の常盤樓と云ふ家は不都合だ腐敗した料理を賣る時節柄同店へ立ち寄るのは危險である(二人代表者)▲龍山京町大和湯は何日も戶を開け放つて置くので入湯中の男女の裸姿を見通しだから僕は樂しみにして彼所を通行する(通行人)▲助平だなア此の通行人は(小僧)

天氣豫報

(自二十日午後六時 至廿一日午後六時)

北東の風晴後曇

十九日(華氏) 最高溫度 八五、一 最低溫度 六六、九

各種 洗濯石鹸 専門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、織道、鑛山、水道湯屋散髮、諸工業用

朝日石鹸製造所

京城旭町二丁目（電話九七三番）

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇たし 中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし 氏名在社（四三五）

●雇入 鳥類剝製に經驗ある者至急雇入れたし 氏名在社（四三八）

年廿四韓國大阪商業學校中途退學數年古着商に從事せし者相當の商店に雇れたし 氏名在社（四四〇）

年廿二生來繪畫に多大の興味を有するもの寫眞館に雇れ技術を見習ひたし確實保證人あり 氏名在社（四四一）

●雇入 建具並に表具職人貳名至急入用 壽町一 桂萬吉

●雇入 小間物行商入用希望の人は左記の所に御來談あれ 壽町三丁目 國分旅館

物件部

○龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社（四三三）

●龍山未設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社（四三四）

●迷犬 雄犬毛色頭及尾茶褐色胴体は白黑斑點右迷込有飼主心當の者は至急本欄係へ

●電話至急買受たし 氏名在社（四四三）

若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓内外を以て賣却す希望者來宅あれ 永樂座横 本田

本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建家土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ 永樂座横 本田

廣告

一豆腐賣子大募集

一市内取次販賣店申込に應ず

一本會社は在來京龍豆腐營業者の合同組織にして機械的製品と衛生的設備にして傭員に對しては相當の待遇をなす志望者は至急來談あれ

韓國京城古市町

京龍豆腐合資會社

卸 小賣

京城本町五丁目

富士の里茶舖

電話九九七番

代理店

懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙

清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり

清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり

清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す

清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名稱へ御注意之上御求めを乞ふ

清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（罐入）十二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）の八種あり

清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目 電話（九百四番）（千六十八番） 新井藥房本店

京城本町三丁目（電話四七八番） 新井藥房第一分店

京城南大門外 新井藥房第二分店

東京足袋着荷 急告

本日より賣出し

京城大和町一丁目日の出橋際

本店東京 電話二〇五番 藤井出張店

移轉擴張廣告

弊店儀四方華主出格の御引立を蒙り倍隆昌の域に達し候段深く奉感謝候然るに繁榮に伴ひ店舖狹きを告げ候に付ては今回業務擴張の着手として左記の所へ移轉し益々奮勵仕候間倍舊の御眷顧御用命奉願上候猶は間服冬服の嶄新なる柄合數多着荷仕候間御下命之程奉冀上候

左記 京城太平町二丁目電話三一三番

遠藤洋服店主 遠藤福松 敬白

新玉城大漢門正面 遠藤洋服店

開業廣告

拜啓陳者下名儀多年内地に於て印刷業に從事致し居り候處當地に於て開業可致知人の懇篤なる勸めに任せ漸く諸種の準備も整ひ茲に開業致し候

活版、石版、寫眞版、製本、和洋式帳簿等の營業種目の鮮明と精巧とを期し得べき技手職工を雇入れ活字は和文、歐文取揃へ入は書籍新聞雜誌等の文章ものより小は名刺レッテルの類に至るまで印刷に差支なき樣整備いたし廣告類の如きは其意匠と要旨との大体を御示しあらば文句は作成して調進致すべく石版は普通器械に比し優に二十倍の印刷力あるロールミシンを据付け可成器械力を利用して迅速と廉價とを計り親切鄭寧を旨として紙質を精撰し意匠に工夫を凝らし精心精意顧客の御便益を計らんと存候時は新秋事業界漸く多事ならんとする折柄多少に拘らず御用命被仰付度尚御序の節には工場御一覽の榮を賜り其空言ならぬ御實檢被成下度偏に冀ひ上げ奉候敬具

京城旭町二丁目（名古屋城の東三軒目）

京城印刷所 電話五七二番

龍山元町三丁目（郵便局向ひ）第八十番戸中谷方

龍山出張所 電話三二九番

日韓印刷株式會社

營業科目

活版、石版、銅版

各種印刷

帳簿裝釘、書籍

製本及ビ印刷

諸材料販賣

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番

出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

牛馬犬豚 治療所（入院隨意）

京城明治町三丁目（電話四二七番）

小川家畜病院

獸醫 小川德太郎

新荷着廣告

上等 トルコ煙草 各種

上等 ロシア煙草（キルクロ 金百本入、五十本入、廿本入、十本入 百本入 廿本入） 各種

上等 葉巻煙草（マニラ ハッナ 百本入、五十本入、廿五本入） 各種

右今般多數着荷仕候に付特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御購求被下度尚地方よりの御注文は引換郵便にて迅速に御送附可申上候間續々御注文被下度偏に奉希上候

京城本町四丁目角

デーエス パネリス商會

仁川本町四丁目 （取次電話九五六番 電略パチリス）

穎原兄弟商會

明治廿年七月創立

東京火災、海上、運送保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四丁目 吳服店 電話九番

出張所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

移轉御披露

秋冷の候各位益々御清榮の段奉賀候當店儀皆々樣の御厚情を蒙り日增に繁榮に趣き從來の家屋にては手狹を感じ候に付今回曙町元大韓日報社跡へ移轉仕り物馴れたる仲居數名を置き從來の料理の外會席すき燒等萬事御手輕を旨とし安價に調理仕一層勉强可仕候間不相變御引立の程偏に奉希上候謹言

京城曙町（元大韓日報社跡）

松善 俵すし

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院（電話三一三）

前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

萬 ∧ 大

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

水上商店（電話二五一番）

和洋酒、◎精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

京城旭町一丁目六十七番戸

辯護士 岡田榮（電話三九八番）

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 九月二十六日午後三時出帆

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 十月十四日正午時出帆

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月 日午前四時出帆

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 九月三十日正午時出帆

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行 立神丸 十月六日午後出帆

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ▲三ヶ月…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲…五號活字十九字詰一行金六十錢 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲…
發行兼編輯人 高久… 印刷人 … 久… 一郎
發行所 京城 朝鮮新報社 電話…